

(法第 28 条第 1 項関係様式)

## 平成 27 年度活動報告

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人 みやざき教育支援協議会

### 活動の成果

生活困窮世帯やひとり親世帯が増えるなかで「貧困の連鎖」を断ち切る学習支援が大きな課題となっています。また、少子化とは裏腹に引きこもりや発達障害児者は増加しており、多様な学習機会も課題となりつつあります。これらの教育課題に対処するために福祉教育の視点が欠かせなくなってきたことから、福祉団体と連携し活動を進めてきました。

事業活動において、調査研究事業として継続して「教育 ICT 研修会」を行いました。ただ、参加者が減少傾向にあり、内容も含めて見直す時期にきています。8 月 10 日、11 日に宮崎公立大学を会場に行われる全国高等学校情報科教育研究大会は全国から 300 名近くの関係者が集まり、様々な研究発表が行われました。当法人は地元実行委員として大会要項兼研究収録集の冊子印刷や会場設営、受付などに協力しました。JICA 案件化調査事業に外部人材（コンサルタント）として関わりましたが、 Bangladesh の E ラーニング教材の実証効果研究と並行して、県内の中高生を対象に数学検定用の学習教材「ユニバーサル数学」を無償提供し、地域格差と教育格差を E ラーニングによって克服できないかの効果実証研究を行いました。

教育支援事業については、委託事業として宮崎大宮高等学校に ICT 支援員を派遣しました。また、事務処理システム「スクールプロ」のサポートを㈱九州ジェービーエーと協力して行いました。今回、システムを大幅に見直し、リニューアル版の開発に協力しました。現場ヒアリングからシステム設計、稼働テスト、マニュアル作成、インストール、データコンバート、日常的なサポートまで県立学校すべてにおいて行いました。さらに、スキルのある障害者の自立支援事業として「楽々WEB 工房」を立ち上げ、福祉団体等の Web サイトを作成しました。9 月からは独立行政法人福祉医療機構（WAM）の社会福祉振興助成金を受けて「生活困窮世帯への学習支援事業（MESC 倶楽部）」に取り組みました。受講生数は目標を下回りましたが、数学検定や MOS、県立高校などへの合格者を出すことができ、大きな成果となりました。あわせて自然体験を含むイベントや報告会を兼ねたシンポジウムを開催し、今後の足掛かりをつくることができました。

文化交流事業として、3 年目になりましたが宮崎公立大学ネットワークゼミと共同して「学校教育現場からはじめる地域防災活性化プロジェクト」事業を行いました。高校生による聞き書き地域防災「ぴ～すけハイスクール」に県内 3 高校の生徒が参加し、大学ゼミ生と交流しながら地域防災についての関心を高めることができました。

## 第1号議案

### 活動内容

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

##### ① 教育の情報化を図る調査研究活動

###### ア 教育 ICT 研修会

###### 第1回

日時 6月13日(土)

場所 宮崎大宮高等学校弦月同窓会会館

内容1 Eラーニングの現状と課題(亀澤克憲代表)

内容2 事務処理システム「スクールプロ」の概要(森山高昌会員)

参加者 14名

###### 第2回

日時 11月18日(水)19:00~20:50

場所 宮崎公立大学地域交流センター

内容「開発途上国の ICT 教育の課題と可能性~開発課題の解決とビジネス展開の両立を目指す~」

講師 田阪 真之介 氏 NPO 法人グローバルアカデミー代表

参加者 15名

###### 第3回

日時 12月16日(水)19:00~20:50

場所 宮崎公立大学地域交流センター

内容「ICT スキルアップのコツ~専門学校における受験対策指導~」

講師 川越 浩一 氏 宮崎情報ビジネス専門学校教諭(教務部)

参加者 12名

###### 第4回 講師の都合により中止

内容「アメリカにおけるアクティブラーニング(芸術作品を題材にして)」

講師 阿部 海渡 氏 一般社団法人ソーシャルメディア研究会

###### 第5回

日時 2月17日(水)19:00~20:50

場所 宮崎公立大学地域交流センター

内容「スーパーグローバルハイスクールの授業を通して」

講師 木場 康典 氏 宮崎県立宮崎大宮高等学校教諭(SGH 担当)

参加者 5名

###### イ eラーニング教材の無償提供による効果実証研究

- 実施時期 4月~3月
- 対象 県内中高生 168人
- 実施内容 「ユニバーサル数学」ライセンス1年間無償貸与

##### ② 教育現場の情報化を支援する活動

###### ア ICT 支援、スクールプロサポート

- 実施時期 平成27年4月~平成28年3月

## 第1号議案

- 対 象 宮崎大宮高等学校、県内公立学校
- 実施内容 授業支援、校務支援

### イ 全国高等学校情報科教育研究大会

- 実施時期 8月10、11日
- 場 所 宮崎公立大学
- 実施内容 運営協力

### ウ Webサイト作成支援（「楽々web工房」事業）

- 実施時期 平成27年8月
- 対 象 宮崎県難病相談支援センター
- 実施内容 精神障がい者の就労、自立支援

### エ 生活困窮世帯への学習支援事業（独立行政法人福祉医療機構助成事業）

- 学習支援員の養成
  - ① 目的・内容：生活困窮者自立支援制度や宮崎県・市の状況、定時制通信制高等学校生徒の実態、学習支援で提供するEラーニング等の学び方、高等学校卒業認定試験制度の内容、発達障害、ひきこもりの実態などについて理解を深めた。
  - ② 開催日
    - 第1回 平成27年10月3日10:00～12:00(宮崎公立大学地域交流センター)15名  
黒木真一氏（宮崎県福祉保健部国保援護課）、城戸松豪氏（IT技術者）
    - 第2回 平成27年11月14日10:00～12:00(宮崎公立大学地域交流センター)6名  
青木一生氏（元定時制高等学校教育相談員）、吉行秀夫氏（元定時制高等学校カウンセラー）
    - 第3回 平成28年2月6日10:00～12:00(宮崎県福祉総合センター)9名  
川崎慎一氏（宮崎市福祉部社会福祉課）、内田昌宏氏（ひきこもり支援「聞風坊」主宰）
  - ③ 対象者 本事業に関わる学習支援員、大学生、連携する団体職員、事業支援者等
  - ④ 広 報 関係者への電話連絡、電子メール、Webサイト、SNS等
- 生活困窮世帯・発達障害児のいる世帯の募集（全22箇所）
  - ① 目的・内容：宮崎市を中心とする近隣市町村の学習支援対象者の掘り起こし、無料学習塾の案内を行った。
  - ② 実施期間 平成27年9月～平成28年3月末
  - ③ 案内先 宮崎県・市福祉行政機関、宮崎県・市教育委員会、宮崎県立高等学校、特別支援学校、児童相談所、宮崎市社会福祉協議会、民生委員、児童養護施設、キワニスクラブ、TOSSサークル、若者サポートステーションなど
  - ④ 広 報 チラシ2,500枚、新聞広告3回、Webページ
  - ⑤ 連携団体 特定非営利活動法人宮崎県ボランティア協会、一般社団法人みやざき公共協働研究会、(有)サン・グロウ、学遊館つねひさ
- Eラーニング等教材提供による学習支援（全165回）
  - ①目的・内容：生活困窮世帯の生徒に対して、自学自習の習慣化を目的に、「ユニバーサル数学」などのeラーニング教材ほかを提供し、開放教室や自宅などでの学習支援を行う。

## 第1号議案

②実施期間 平成27年4月18日～平成28年3月31日（原則、毎週日曜日13:30～16:30）

③場 所 NPO 法人宮崎県ボランティア協会、一般）みやざき公共協働研究会、学遊館つねひさ、自宅

④対応者 支援員10名

⑤内 容 3教室でのPCを用いた学習支援、自宅でのeラーニング

⑥回 数 9月6回、10月11回、11月19回、12月29回、1月31回、2月34回、3月35回

### ● 自然体験・交流イベントの実施（（有）サン・グロウへの委託事業）

① 目的・内容：自然との触れ合いや人との交流を通して、気分転換や仲間（支え合い）意識を図り、学習へのモチベーションを高める。

② 開催日

第1回 平成27年12月20日

場 所 去川子ども村（旧去川小学校跡）

プログラム 「なぜ、勉強しなければならないのか」講演およびゲーム（29名）

第2回 平成28年1月24日

場 所 宮崎中央公民館

プログラム「夢を叶える生き方とは」講演およびリアル熟議（71名）

第3回 平成28年2月21日

「ぼくらの道をつくろうZ」ワークショップ（26名）

場 所 去川子ども村（旧去川小学校跡）

③ 広 報 チラシ、新聞記事、機関紙、web サイト

### ● シンポジウム（事業報告会）の開催（さとわ企画への委託事業）

① 目的・内容：「子ども・若者の貧困を考えるシンポジウム in 宮崎」と題して、各機関、市民団体、個人が集まり、貧困の実態と支援のあり方について自由に話し合い、今後の活動に活かす。

② 開催日 平成28年3月13日（日）

③ 場 所 去川子ども村（旧去川小学校跡）

④ プログラム

講演「学校や地域から見えてくる子どもの貧困」（62名）

井戸端会議「こんなことやってるよ、こんな風にやりたいね」

⑤ 広 報 チラシ、新聞記事、機関紙、web サイト

### ● 報告書作成および配布

①目的・内容：本事業への理解を深め、関係団体への協力とネットワーク化を推し進めるため、事業の成果をとりまとめた報告書「MESC 倶楽部（塾）」を作成し、協力団体に配布した。

②作成部数 300部

### ● 事業の効果

①学習支援応募者数 15名（事業開始後）、153名（開始以前）、計168名

②数学検定合格者数 2名+0（アンケートで集約中）

③MO S 認定試験合格者数 1名（Word, Excel スペシャリスト）

④高等学校卒業認定者数 1名

## 第1号議案

⑤県立高等学校合格者 2名

### ③ 文化交流事業活動

ア 高校生による聞き書き地域防災「び～すけハイスクール」(共同事業)

- 実施時期 平成27年5月～平成28年3月
- 対象者 高校生、大学生、教職員、一般市民など
- 内 容 リアル熟議 in みやざき

第1回 平成27年7月25日(土)

場 所 宮崎公立大学地域交流センター

テーマ 「これからの地域を考える」

参加者 高校生、大学生、一般 36名

第2回 平成27年12月19日(土)

場 所 宮崎公立大学地域交流センター

テーマ 「コミュニケーション力を高める」

参加者 高校生、大学生、一般 32名

- 成果物 2015年度「聞き書き地域防災」報告書
- 配布対象 県内高校、大学、企業、教育委員会など

イ 動画コンテンツ教材作成(委託事業)

- 時 期 平成26年10月～平成27年5月
- 内 容 「センサー生物」解説

ウ 広報活動

- 実施時期 平成28年4月20日
- 実施内容 情報誌「メスカジャーナル」No.5の発行
- 配布対象 県内高校、大学、企業、教育委員会など

### ④ その他の事業

ア JICA 案件化調査コンサルタント(㈱教育情報サービスとの委託事業)

- 実施時期 4月～12月
- 対 象 バングラデシュ国
- 実施内容 ITEE 教材作成

イ 労務・経理事務コンサルタント

- 実施時期 平成27年8月～11月
- 対 象 NPO 法人グローバルアカデミー
- 実施内容 規約、経理、手続きなど